

現在、リハビリテーション部では、院内で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等について、当院の倫理審査委員会の承認を得て、病院長の許可を受けて実施するものです。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供してほしくない」と思われた場合にも下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡ください。

【この研究での診療情報等の取扱い】

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

<p>【研究課題名】心臓外科術後例に対する手術翌日からの早期歩行練習開始の取り組み ～早期歩行練習開始による歩行獲得日数、在院日数および術後合併症への影響について 後方視的検討～</p>
<p>【研究対象者】 2011年8月～2020年12月までの間に、当院心臓血管外科において、心臓外科術後、リハビリ処方を受けられた方</p>
<p>【利用している診療情報等の項目】 〔診療情報等〕 ・患者基本情報：現病歴、年齢、性別、身長、体重、既往歴 ・手術情報：術式（手術時間、出血量）、術後人工呼吸器装着時間 ・リハビリ情報：端坐位、起立立位および歩行練習の開始日、歩行距離、介助量、その他 ・血液検査：アルブミン、ヘモグロビン、炎症値、クレアチニン、尿素窒素、eGFR、その他必要な検査項目 ・その他：在院日数、転帰（自宅退院または転院など）、術後合併症（肺炎など）</p>
<p>【利用の目的】（遺伝子解析研究（有・<input checked="" type="radio"/>無）） 術後早期離床および早期歩行練習開始は推奨されていますが、ガイドライン¹⁾ではリハビリプログラム例の紹介に留まっています。当院では独自にリハビリプログラムを作成し、手術翌日より歩行練習を開始しており、早期の歩行練習開始が特徴です。 当院の手術翌日からの歩行練習開始が、術後合併症を予防し、術後歩行自立獲得日数および術後在院日数の短縮に寄与するのか、後方視的に調査することを目的とします。また歩行自立獲得が遅延した方について検討し、遅延の関連因子について明らかにします。遅延の関連因子を明らかにすることは、遅延を事前に予測し、リハビリ方針の決定に寄与する可能性があります。 1) 循環器病の診断と治療に関するガイドライン（2011年度合同研究班報告）：心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン（2012改訂版）</p>
<p>【主な共同研究機関及び研究責任者】（営利企業との共同：有・<input checked="" type="radio"/>無） 研究責任者（森田義満）のみが、上記の診療情報等を閲覧します。 共同研究者からは、学会発表および論文作成時に助言を頂きます。 〔共同研究者〕 1. 高木病院 心臓血管外科 部長 久原 学 2. 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 理学療法学科 教授 金子 秀雄</p>
<p>【利用期間】 2021年5月14日～2023年3月31日までの間</p>

【医療法人社団高邦会 高木病院 研究責任者及び研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：森田 義満

電話：0944-87-0001（代表）（内線：3242）（対応可能時間：平日9時～17時）

Fax：0944-87-9310

Eメール：15s3066@giuhw.ac.jp